



学校だより 6 月

“桜川 学びのエリア : 桜川中・桜川小”

令和 7 年 5 月 3 0 日
板橋区立桜川小学校
N o . 3



体育学習発表会を終えて



副校長 海沼 秀樹

5 月 18 日（日）に、本年度の体育学習発表会を実施しました。予定されていた 17 日（土）から一日順延となりましたが、天候に恵まれ、多くの方にお越しいただき、無事開催することができました。今年度については、5 月に時期を変更したため、発表会までの期間が約 1 ヶ月と短い中でしたが、どの学年も練習の成果を発揮し、一生懸命頑張るすてきな姿がたくさん見られました。中でも、特に表現について、私が感じたことをお伝えします。

1 年生：1 年生ならではのかわいらしい部分と、4 月に入学してからの成長を存分に感じた演技でした。「おいわいのはな」が校庭中に咲き誇り、とても華やかになりました。

2 年生：表現することを「楽しんでいる」ように感じた演技でした。と同時に、指の先、足の先まで意識して、自分のできる精一杯を表現しようという思いも伝わってきました。

3 年生：全身を使った大きな動きが印象的でした。複雑な動き、隊形移動もしっかりと覚え、とても「カッコいい」演技でした。低学年のよいお手本となっていました。

4 年生：鳴子の響きと 70 周年を盛り上げる演出、そして何よりそれに負けない 4 年生の揃った動き。表現にストーリーを感じさせる、すべてが一体となった演技でした。

5 年生：校庭中に響き渡る掛け声と踊りのキレに圧倒されました。背中のはっぴの文字や最後の「ヤー」に至るまで、すべてのものや動作に 5 年生の思いがあふれていました。

6 年生：集団行動～組体操～ダンスと、まさに気持ちを一つに、心を一つに、を表現していました。演技をする態度に至るまで、さすが最上級生！という素晴らしい演技でした。

最後になりますが、今回の体育学習発表会を実施するに当たり、多くの皆様のご協力、ご支援、そしてご声援をいただきました。こうした支えが、学校の教育活動の充実、推進に欠かせないものであることを改めて実感いたしました。本当にありがとうございました。

コミュニティスクール(CS)委員会報告

本年度のコミュニティスクール委員会第 1 回を 4 月 24 日（木）に、第 2 回を 5 月 15 日（木）に行いました。第 1 回では、授業参観時にそれぞれの委員の方が視点を決めて参観し、それを基に第 2 回に熟議を行うことを確認しました。第 2 回の委員会で出された主な意見を紹介します。

- ・学年が上がるにつれて、児童の、授業に取り組む姿勢が高まっていると感じた。
- ・個々の児童への対応の大変さを感じた。課題が終わった児童への対応など、児童の学習状況に応じた学びをどう充実させていくかが課題である。
- ・黒板に「めあて」や「やること」が示されていると、児童が見通しをもって学習に取り組んでいた。一方、それが無い学級もあった。板橋区授業スタンダードの取組をもっと浸透させてほしい。
- ・ふだんからの先生と児童の関係が授業に何らかの影響を与えることがある。児童との関係性を様々な場面を通して作っていくことが大切である。

※いただいたご意見を今後の教育活動に生かして参ります。ありがとうございました。